



＜校訓＞
自 主
品 位
根 性

学校だより

岡山市立光南台中学校
No.12 令和4年3月1日

学校教育目標「**知・徳・体を磨き、自立した生徒の育成**」

「リモートによる新入生説明会」

2月8日（火）に予定していた新入生説明会は、コロナの状況により体育館での集まりは中止とし、小学校6年生の児童への説明をリモートで実施しました。クロームブックを介しての説明会でしたが、生徒会執行部の中学校クイズでは、手を挙げて応答する児童の様子があり、場所は離れていても繋がっているという実感がありました。小学生にとっては、一緒に通学していたお兄さん、お姉さんの成長した姿を見て、中学校生活への期待を持ってくれたことと思います。あと1か月で、新入生が入学してきます。中学校では、受け入れ態勢をしっかりと整えて迎え入れたいと思います。

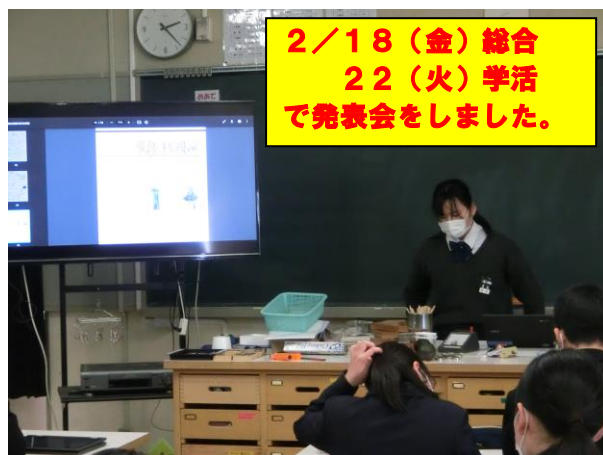


インタビューボードの前で説明をする生徒会執行部



2年「高校調べ発表会」

司会者によるスムーズな進行



2/18（金）総合
22（火）学活
で発表会をしました。



クロームブックで
資料提示

「卒業を迎えて、贈る言葉」

「後輩から卒業生への送る言葉」を、また、「卒業生から後輩への送る言葉」を書く国語科の授業では、それぞれ自分の好きな名言を入れて送る言葉を作成しました。各学年の送る言葉を紹介します。

美術部の先輩方へ

先輩方が卒業されるまで、いよいよあと少しとなりました。もうすぐ高校生活をスタートされる先輩方に、私が好きな目標とする言葉を贈りたいと思います。

「雨だれ石をうがつ」

これは、「どんなにちいさな力でも、根気よく努力を続けていけば、いつか大きな成功を得られる」という意味の故事成語です。

私は、小学校で初めてこの言葉を耳にしました。先輩方もこの言葉を聞いたことがありますか。新しい環境の中で不安なこともあるかと思いますが、楽しく、小さな努力を積み重ね、たくさんの希望を持って、先輩方の人生のキャンパスを色とりどりに、オリジナルデザインとして、創り上げてほしいと思っています。一年間ありがとうございました。

1年生

三年生の皆さんへ

三年生の皆さんが光南台中学校を卒業されるまで、あと数か月ほどになってしまいました。そこで、私の好きなパブロ・ピカソの名言を贈りたいと思います。

「できると思えばできる。
できないと思えば
できない。
こればゆるぎない
絶対的な法則である」

これは、性別や年齢など人それぞれ置かれている環境は違いますが、やってみることにについては、皆平等に与えられているチャンスであるという意味です。

コロナの影響で大変だと思いますが、夢や希望をあきらめず、前進し続けてください。

これからもずっと応援しています。

2年生



後輩のみなさんへ

もうすぐこの光南台中学校を卒業します。私たちが卒業した後、この光南台中学校を担うあなたに、私が好きな言葉を贈りたいと思います。

「苦しいから逃げるのでない。逃げているから苦しいのだ。」

これは、心理学者のウィリアム・ジェームズさんの言葉です。私は、この言葉を知り、自分が目の前のことに向き合わないことで、自分を苦しめていることにあらためて気付くことができました。なので、皆さんには、目の前のことに、今真剣に向き合ってほしいと思います。あきらめず、失敗してもいいので、挑戦し続けてください。これからも応援しているので頑張ってください。



3年生